「位相のあたま」 共立出版，２０１９年４月２５日初版第２刷

正誤表 (２０２２年１０月２８日現在)

p.10, 上から 3 行目
直線 $AB \longrightarrow$ 直線 AC

p.10, 上から 4 行目
線分 $AB \longrightarrow$ 線分 AC
（ちなみに，次の行の不等式 $d(A,C) \leqq d(A,D) + d(D,C)$ は，図の場合は等号が成り立つが，点 D が線分 AC 上にない場合には，一般に不等式となる.）

p.70, 上から 1 行目

$$f^{-1}(y) = \frac{y}{1-y} \quad \longrightarrow \quad f^{-1}(y) = \frac{y}{1+y}$$

p.84, 例題 193 の解答例，上から５行目
$A \subseteq (V_{\lambda_1} \cap A) \cup \cdots \cup (V_{\lambda_p} \cap A) \ \longrightarrow \ A = (V_{\lambda_1} \cap A) \cup \cdots \cup (V_{\lambda_p} \cap A)$
（間違いではないが，文脈的に後者が適切.）

p.87, 下から１行目
解集合 $\longrightarrow$ 開集合

p.106, 上から 4 行目
X の部分集合からなる族 $\mathcal{B}$ が $\longrightarrow$ $\mathcal{O}$ の部分集合 $\mathcal{B}$，すなわち，X の開集合からなる族 $\mathcal{B}$ が

p.110, 上から 9 行目
$V \subset \pi(Z) \ \longrightarrow \ V \subset (Y \setminus \pi(Z))$

p.113, 上から 14 行目
加算公理 $\longrightarrow$ 可算公理

p.113, 上から 16 行目
$\cup_{i \in I} B_i \longrightarrow \bigcup_{i \in I} B_i$

p.114, 上から 14,15 行目
$\sqrt{n}\varepsilon < \delta \ \longrightarrow \ \sqrt{n}\varepsilon < \frac{\delta}{2}$
$\varepsilon < \frac{\delta}{\sqrt{n}} \ \longrightarrow \ \varepsilon < \frac{\delta}{2\sqrt{n}}$
$\sqrt{n}\varepsilon < r < \delta \ \longrightarrow \ \sqrt{n}\varepsilon < r < \frac{\delta}{2}$

p.123, 上から 11, 12 行目
また，$G := \{ac \mid a \in A, c \in C\}$ とおけば，$G \neq \mathbf{Q}$ であり，$H := \mathbf{Q} \setminus G$ とし，$\longrightarrow$
また，$0 \leqq x, 0 \leqq y$ のとき，$H := \{bd \mid b \in B, d \in D\}$ とおけば，$H \neq \mathbf{Q}$ であり，$G := \mathbf{Q} \setminus H$ とし，

p.166, 下から 11 行目
番号 n_k を十分大きくとれば $\longrightarrow$ 番号 n_k が十分大きくとれて　（下の補足説明も参照.）

p.172, 下から **5** 行目
$\mathbf{R}\setminus B \longrightarrow \mathbf{R}\setminus B'$

p.173, 上から **2** 行目
$\beta\in A$ となる．これは，α が A の $\longrightarrow$ $\beta\in A'$ となる．これは，α が A' の

定理 194 の証明の後半の補足.
$a\in\bigcap_{n=1}^{\infty}F_n$ だから，任意の n に対して，$a\in\overline{\{a_n,a_{n+1},\dots\}}$ となる．閉包の定義から，任意の n と任意の k に対して，$B(a,\frac{1}{k})\cap\overline{\{a_n,a_{n+1},\dots\}}\neq\emptyset$ となる．したがって，番号 n_k で $n\leq n_k$ かつ $a_{n_k}\in B(a,\frac{1}{k})$ となるものが存在する．このとき，$d(a,a_{n_k})<\frac{1}{k}$ であり，$n_1<n_2<\cdots<n_k<n_{k+1}<\cdots$ となる．したがって，$n_k\to\infty(k\to\infty)$ であり $d(a,a_{n_k})\to 0(k\to\infty)$ となる．このとき，$\{a_n\}$ の部分列 $\{a_{n_k}\}$ が A の点 a に収束する．

誤りや修正・補足すべき箇所をご指摘いただき感謝いたします．

石川剛郎